

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	12-7
PDCA	主要事業名	墓地施設快適化推進事業	部課名	市民経済部環境課	担当	高橋	
					内線	21-4001	
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 2 - 3 単位施策： 生活環境 全体事業期間： 令和 3 年度 ~ 年度 全体事業費等： 10,450 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.03.20.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 4,952 千円						
	事業概要等	事業概要： 「墓地は迷惑施設である」というイメージを払拭し、利用者が安全、快適に利用でき、かつ故人をしのぶ場所としてふさわしい場所となるよう、各種設備の整備や修繕を行う。					
		事業目的： 迷惑施設のイメージを払拭し、故人をしのぶ場所としてふさわしい墓地施設等を整備することにより、市民が安心して集える墓地空間を創出する。					
		事業内容： 北谷墓地通路整備					
		問題点・課題等： 近年のライフスタイルの変化や少子高齢化などによる無縁化や墓じまいの増加、高齢者や障がい者の利用などに配慮した整備を行う必要がある。					
	予算額	主要事業とする理由					
	10,450 千円	施設の整備について、中長期的な整備から早期整備への転換を図り、墓地利用者の更なる利便性の向上と安全性の確保に努めるため。					
	財源内訳	得られる成果					
	市費	幹線通路の舗装整備を行うことにより、高齢者や車いすの方が安心してお墓参りができる。					
	10,450 千円						
	国費						
	0 千円						
	県費						
	0 千円						
	その他						
0 千円							
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果					
	10,428 千円	お盆までに幹線通路の舗装整備を行ったことにより、高齢者や車いすの方が安心してお墓参りができるようになった。					
		成果指標					
						令和3年度	単位
	早期（お盆まで）に工事を完了する。	実績値	1		件		
		目標値	1		件		
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 幹線通路の舗装整備（舗装の打ち換え）を行ったことにより、路面の凹凸や、排水不良箇所の水溜りを解消することができ、高齢者や車いすの方でも、快適に区画内通路へアクセスできるようになった。工事期間中における駐車場の確保や、安全対策を適切に行うことで、墓参者への影響を最小限にし、多くの墓参者が訪れるお盆までに工事を完了することができた。北谷墓地の幹線通路については整備が完了したが、区画内通路や他の墓地については未舗装の箇所も多く、排水不良や凸凹の場所もあるため、快適な墓参環境が整っていると言い難い。					
A 今後の課題の方向性	今後の事業の方向性	改善推進 今後の墓地施設の整備については、令和2年度に策定した「半田市墓地管理計画」に基づき、近年のライフスタイルの変化や少子高齢化等による無縁化や墓じまいの増加、高齢者や障がい者の利用などに配慮し、6つの市営墓地の特性に応じた整備を行っていく。					
	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）